イオフルパンSPECTに影響を与えうる薬　（文献[13]より抜粋、ただし日本承認薬）

成分名	休薬(日)	製品名	分類	効能
Paroxetine	5	パキシル	SSRI	抗うつ薬
Duloxetine	3	サインバルタ	SNRI	抗うつ薬
Escitalopram	8	レクサプロ	SSRI	抗うつ薬
Fluvoxamine	5	ルボックス	SSRI	抗うつ薬
Sertraline	6	ジェイゾロフト	SSRI	抗うつ薬
Imipramine	5	トフラニール	TCA	抗うつ薬
Clomipramine	21	アナフラニール	TCA	抗うつ薬
Pimozide	28	オーラップ	神経遮断剤	統合失調症治療薬
Memantine	5	メマンチン	NMDA阻害	AD治療薬
Ephedrine	～0.4	エフェドリン	NA放出	気管支拡張剤
Phenylepherine		ネオシネジン	アドレナリン作動薬	ショック
Pseudoephedrine		プソイドエフェドリ	α1による血管収縮作用	鼻炎
Methylamphetamine	3	ヒロポン	モノアミン放出と取込抑制	うつ、ナルコレプシー
Methylphenidate	2	リタリン	DAT阻害	ADHD治療薬
Mazindol	3	サノレックス	再取り込み抑制	食欲抑制薬
Modafinil	3	モディオダール	DA再取込阻害	ナルコレプシー
Flunarizine		フルナール	Ca2+拮抗薬	片頭痛薬、脳循環改善

補足：　ドパミン系に作用する可能性がある以下の薬剤に関しても読影上注意が必要と思われる。（ただし、本改訂時に明らかな報告はない）

・ドパミン受容体への拮抗薬であるセロトニン・ドパミンアンタゴニスト（SDA）：リスペリドン（リスパダール）、オランザピン、クエチアピン、ペロスピロン、ブロナンセリンなど

・ドパミン受容体部分作動薬であるドパミン系安定薬（DSS）：アリピプラゾール

文献 13) Kägi G, Bhatia KP, Tolosa E. The role of DAT-SPECT in movement disorders. J Neurol Neurosurg Psychiatry 2010;81:5–12.
イオフルパン診療ガイドライン　日本核医学会・日本脳神経核医学研究会